



織物及び編物のピリング試験方法

JIS L 1076 : 2012

(JTETC/JSA)

平成 24 年 3 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 川 昭二郎	お茶の水女子大学名誉教授
(委員)	會 川 義 寛	お茶の水女子大学
	赤 松 幹 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	石 川 麗 子	財団法人日本消費者協会
	大 熊 志津江	文化学園大学
	金 丸 淳 子	財団法人共用品推進機構
	河 内 憲 治	一般財団法人日本文化用品安全試験所
	河 村 拓	合同会社西友
	河 村 真紀子	主婦連合会
	櫻 橋 晴 雄	社団法人日本ガス石油機器工業会
	滝 田 章	社団法人消費者関連専門家会議
	中 里 憲 司	社団法人繊維評価技術協議会
	中野子 礼 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	中 村 有 作	財団法人製品安全協会
	夏 目 智 子	全国地域婦人団体連絡協議会
	秦 義 一	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	畠 山 孝	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	久 松 富 雄	財団法人家電製品協会
	山 口 公 樹	社団法人日本オフィス家具協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 42.12.1 改正：平成 24.3.21

官 報 公 示：平成 24.3.21

原 案 作 成 者：社団法人繊維評価技術協議会

(〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 12-9 滋賀ビル TEL 03-3639-5084)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 小川 昭二郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験場所	2
5 試料及び試験片の採取及び準備	2
6 試験の種類	2
7 試験機	3
7.1 ICI 形試験機	3
7.2 TO 形試験機	4
7.3 アピランス・リテンション形試験機	5
7.4 ランダム・タンブル形試験機	6
8 試験方法	7
8.1 JIS 法	7
8.2 ISO 法	8
9 判定	8
9.1 判定条件	8
9.2 等級判定	9
10 試験報告書	11
附属書 A (規定) I 法 (ピリング・ボックス法)	16
附属書 AA (参考) ピリング試験箱の使用に関する指針	20
附属書 B (規定) J 法 (修正マーチンデール法)	21
附属書 BA (参考) ピリング試験の区分	29
附属書 JA (参考) E 法, F 法, G 法及び H 法	30
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	36
解 説	39

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人繊維評価技術協議会（JTETC）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS L 1076:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

織物及び編物のピリング試験方法

Testing methods for pilling of woven fabrics and knitted fabrics

序文

この規格は、2000年に第1版として発行されたISO 12945-1及びISO 12945-2を基とし、我が国の使用実態を反映させるため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で対応国際規格に規定されている方法は、箇条6のISO法〔I法（ピリング・ボックス法）（附属書A参照）〕及び〔J法（修正マーチンデール法）（附属書B参照）〕であり、A法（ICI形試験機を用いる方法）、B法（TO形試験機を用いる方法）、C法（アピアランス・リテンション形試験機を用いる方法）及びD法（ランダム・タンプル形試験機を用いる方法）は、対応国際規格に規定されていない方法である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。また、附属書JAは対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、織物及び編物のピリング試験方法について規定する。また、この規格で、E法（参考）（アクセロータ形試験機を用いる方法）、F法（参考）（ユニバーサル形試験機を用いる方法）、G法（参考）（ユニフォーム形試験機を用いる方法）及びH法（参考）（ブラシアンドスポンジ形試験機を用いる方法）を参考として、附属書JAに記載した。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 12945-1:2000, Textiles—Determination of fabric propensity to surface fuzzing and to pilling—Part 1: Pilling box method

ISO 12945-2:2000, Textiles—Determination of fabric propensity to surface fuzzing and to pilling—Part 2: Modified Martindale method（全体評価：MOD）

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 2336 電気絶縁用ポリ塩化ビニル粘着テープ

JIS K 6253-3 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—硬さの求め方—第3部：デュロメータ硬さ

JIS L 0105 繊維製品の物理試験方法通則

注記 対応国際規格：ISO 139, Textiles—Standard atmospheres for conditioning and testing（MOD）

JIS L 0208 繊維用語—試験部門